

平成24年3月1日

CSR担当者殿

164-0014 中野区南台2-51-7-707号
NPO法人ベターコミュニケーション研究会 (BCS)
理事長・中園秀喜 (ペンネーム岩渕紀雄)
TEL/FAX03-3380-3324/nakazono@bcs33.com

「お助けシール」協賛のお願い (案)

拝啓、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は当研究会をお引き立て賜り厚くお礼申し上げます。

NPO法人ベターコミュニケーション研究会 (NPO-BCS) は1991年に創立以来、聴覚障害者の「ありのままの姿で公平に」と「情報は公平に」を目指して活動しています。詳しくは<http://www.bcs33.com/>をご覧ください。

企業がハッピー、社会がハッピー、みんながハッピーになれるような活動をしています。

東日本大震災は我々の生活にも影響をもたらしました。

「地震で停電。回りは真っ暗。何も見えない。となりにだれがいるのかさえ、判らない。聞こえる人は暗闇でも声を頼りにできるが、聞こえない人はどうしようもない。まして、聴覚障害は『見えない障がい』なのだから。せめて暗いところでもわかる蓄光シールでもあればありがたい」(NPO・BCS へのメールから) こういう不安な生活をしている人が 34 万人います。一人でも多くの命が救えれば……という事で「お助けシール」を考えました。詳しくは別紙見本参照。

・「お助けシール」は岩手、宮城、福島、茨城、静岡など地震の危険性の可能性の高い地域を中心に送りたいと思います。

- ・ 寄贈者のところに音社名と URL が入ります。宣伝しながら社会貢献をしませんか。
- ・ 無理のない範囲で始めてみませんか。
- ・ 5 万円あれば、238 人が救われます。50 万円あれば 2380 人が救われます。

いま、できることを一つ一つ。「私たちにできる使命と役割」を果たすことを希望します。

「力のある人は力を、知恵のある人は知恵を、お金のある人は寄付を」。